



大磯建物語 ②

澤田美喜記念館

隠れキリシタン資料館

澤田美喜さんの もう一つの隠れた業績

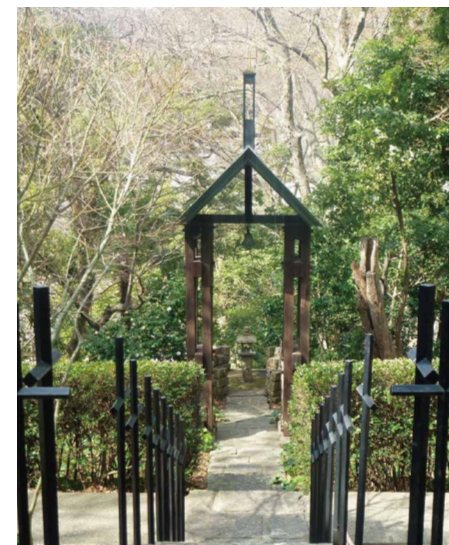
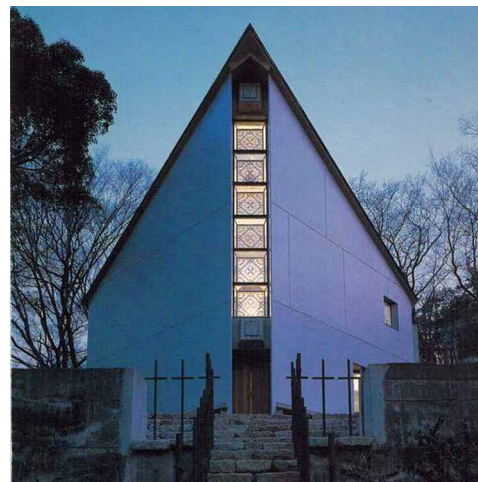
大磯駅前ロータリーの南側に緑に囲まれた小高い丘(通称岩崎山)の上に澤田美喜記念館があります。この記念館は、エリザベス・サンダース・ホーム創始者故澤田美喜さんの生前の遺志を引きつぎ建設され、1988年4月19日に開設されました。



故 澤田 美喜さん
(1901-1980)



記念館は、三宅敏郎氏の設計による免震構造を採用した建築です。また、外観のデザインは「ノア方舟」をイメージした長六角形で舟の形をしています。2階は澤田美喜記念礼拝堂、1階はコレクション展示室で、澤田美喜さんが戦前・戦後の40年にわたって蒐集した、江戸時代の隠れキリシタンの遺物や関連する品々872点のうち300点が展示されています。



■ 26聖人の十字架(手前)

■ 鐘(中央)

朝夕三点の鐘は、感謝・祈り・癒しを表していると言われています。

■ 切支丹燈籠(奥)

竿石の上部が十字に膨らんでいて、下部に人物像が彫られています。

※この趣意書は、故人がスペインに旅立つ1ヶ月前に書かれ、遺言となりました。

キリシタン記念館建設趣意書 澤田美喜

すばらしい日本キリシタンの殉教者達と私の出会いは、サンフランシスコ横浜間の船の上でした。白山丸の図書室で読んだ本で、ローマの殉教者達のそれにもまして美しい殉教が日本にあったことを初めて知りました。

それから四十年、私がキリシタンに魅せられて、九州の島々を巡り歩いて集めた遺物の数は千点をこえました。これらの、殉教者の子孫が大切に守ってきた品々に私は強い信仰の息吹を感じます。そしてこの数十年間、子供達を守り育てる仕事の中で、私は幾度これらの遺物の前で祈り、力づけられたか分かりません。これらの遺物を納めたチャペルは私の「かけこみ寺」でもありました。失望と悲嘆と涙と怒りの時、このかけこみ寺は私に光と希望と、そして忍耐を与えてくれました。

私はこの得難い経験を私有することをやめて世の多くの方々の為に魂の療養所を建設し、キリシタン遺物のすべてをお献げしたいと思えます。そしてキリストを信じる、宗派を超えた信徒が一つになって、この世にもまれな、誇るべき私共の先祖の宝を守って行きたいのです。この建物を「致教会道場」と名付け、平和を愛する信仰をより立てて参りたいと存じます。御協力をお願い致します。

一九八〇年四月

入口の上には、採光用の6枚のステンドグラスがはめ込まれていますが、夕暮れからはそのステンドグラスの模様がはっきりと浮き出てきます。そして、後ろを振り返ると、鐘とその奥に「切支丹燈籠」が見えます。入口へ続く上り階段の両脇に26聖人を偲んで26本の十字架が並んでいます。

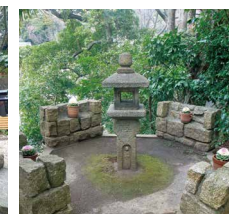
日本初 1985年11月認定第1号の免震構造建築

免震構造とは、地震による建物の揺れを軽減する建築構造のことで、建物と地盤との間にアイソレータ(積層ゴムなど)や揺れを吸収するダンパー(緩衝器)が設置されています。アイソレータは建物を支え、地震のときに建物をゆっくりと移動させますが、ダンパーは建物を支える役目はせず、アイソレータだけではいつまでも続く揺れをとめることはできないため、ダンパーがそれを抑える働きをしています。

26聖人の十字架



切支丹燈籠



アイソレータ(積層ゴム)



ダンパー(鋼材)





1階 展示室(隠れキリシタン遺物コレクション)

1階の展示室に入ると、まず目を引くのが正面奥の左右壁面。トルコのカッパドキアを思わせる展示棚があり、マリア観音像などが多数納められています。その奥には、澤田美喜さんと亡くなった30名の孤児たちの遺影があり、訪れた人にやさしく微笑みかけています。

コレクションされた遺物は、現在872点あり、うち300点余りが様々なジャンル別に整理され展示されていて、その遺物たちの魂から当時の人々の信仰への強い思いが感じられます。



●見学ガイドブック
遺物の詳しい説明は、見学ガイドブック(有料)を参照してください。



踏絵

踏絵

荊冠縛手のキリスト像
映画「沈黙」に使用された



魔鏡(裏面)と投影されたキリストの像

鏡のおもて面に光が当たるとキリスト像が投影
鏡は二重構造で内部にキリスト像が彫られていた

十字架のコレクション



鐔のコレクション



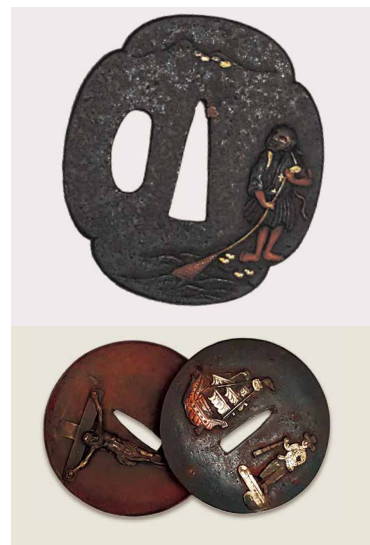
白磁マリア観音像

このほかに木製のマリア
観音像などが多数ある



阿弥陀如来像

背面の中に象牙の十字架とキリスト像
が隠されている



刀の鐔(つば)

(上)漁師ペテロの胸に光る十字架
(下)中側にキリスト像

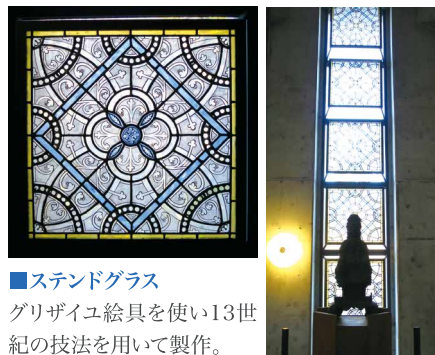
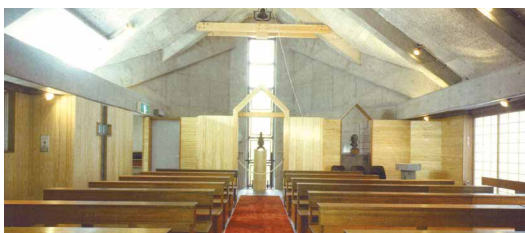


2階 澤田美喜記念礼拝堂

2階へ行く階段には、6枚のスタンドグラスが外光を受けて色鮮やかに輝き、その光を背にマリア観音像が静かに佇んでいます。このスタンドグラスは、日本スタンドグラス協会の有志が製作し寄贈。13世紀のグリザイユパネルと呼ばれています。グリザイユ絵具を使用し、13世紀の技法によって製作されました。

自分と向き合える場所

礼拝堂は屋根に採光窓があり、そこから差し込む自然光が礼拝堂全体をやわらかな落ち着いた雰囲気にしていきます。正面は南むきで、十字架の背に降りそそがれる荘厳な光で暖かく見守られている気分になります。洗礼盤の台座には、聖地イスラエルの石が埋め込まれています。



■スタンドグラス

グリザイユ絵具を使い13世紀の技法を用いて製作。



■2階礼拝堂の出入口(西側)

山の斜面を利用し直接2階の礼拝堂へ入ることができます。(現在この場所は、関係者以外立入禁止となっておりますのでご注意ください)

澤田美喜さんの略歴

- 1901年 9月19日 三菱財閥3代目総帥・男爵岩崎久弥の長女として誕生。
- 1922年 7月 クリスチャンの外交官・澤田廉三と結婚。
- 1922年 夫のブエノスアイレス、北京転任に同行。
-1927年
- 1931年 夫のロンドン・パリ・ニューヨーク転任に同行。
-1936年 米国より帰国。
(1936年よりコレクションの蒐集を始める)
- 1945年 三男・晃(洗礼名:ステパノ)が戦死。
〈終 戦〉
- 1947年 列車内で混血児の遺体の母親と間違われ、混血児救済を決心。
- 1948年 2月 エリザベス・サンダース・ホームを創立。
- 1949年 ホームの基金を募るために米国で講演活動。
- 1953年 学校法人 聖ステパノ学園を創立。
- 1955年 昭和天皇・皇后のご訪園。
- 1962年 ブラジル・アマゾン川流域の開拓を始め、聖ステパノ農場を設立し、孤児院の卒園生が多数移住。
- 1980年 記念館の建設趣意書作成後、5月12日スペイン・マヨルカ島にて心臓発作のため、78歳で急死。

受賞・栄誉

- 1963年 4月 昭和37年度 朝日賞
- 1960年 6月 エリザベスブラックウェル賞
- 1965年 11月 国際孤児団 世界の婦人賞
- 1966年 7月 内閣総理大臣顕彰
- 1968年 10月 アイゼンハワー賞
- 1970年 5月 ブリッジポート大学名誉法学博士号
- 1972年 4月 勲二等瑞宝章
- 1978年 9月 アデライデ・リストリ賞
- 1980年 5月 正四位
大磯町名誉町民称号
- 1982年 3月 厚生大臣 児童福祉文化賞

一制作協力一

- ・澤田美喜記念館
- ・社会福祉法人 エリザベス・サンダース・ホーム
- ・白石建設株式会社
- ・大磯町

大磯建物語②「澤田美喜記念館」(隠れキリシタン資料館)

平成29年3月 発行

編集・発行 大磯まちづくり会議
〒259-0102 神奈川県中郡大磯町生沢969-3
(株)アスデザインアソシエイツ内
電話番号 0463(73)2002

失望と悲嘆と涙と怒りの時、
私に光と希望と忍耐を与えて
くれました。

- 施設名 澤田美喜記念館
- 所在地 〒255-0003
神奈川県中郡大磯町大磯1152
- 電話 0463-61-4888
- 開館時間 10時～16時
- 休館日 月曜日(ただし、祝祭日は開館。その場合、翌日火曜日休館)、年末年始
- 入館料 一般 500円
高校生・大学生 400円
65歳以上 400円
中学生以下 無料
団体(15名様以上) 400円
障がい者手帳保持者 無料
- ホームページ <http://www.sawadamiki-kinenkan.com>

一アクセス一



東海道本線「JR大磯駅」下車
駅前斜め右向い(徒歩1分)
※車でのご来場はご遠慮ください。

一つひとつのピースに
想いを込めて…



発行
大磯まちづくり会議